

11 がっひかりごう

令和 2 年 11 月 1 日 輝 保 育 園

少しずつ日の暮れるのが早くなり、朝晩の冷え込みが晩秋の訪れを感じさせます。園庭には、バッタやとんぼが遊びに来てくれ、子ども達が夢中で追いかけています。先日、緑色だった葉の色が、黄色に変化したことに気付き、「何で、色がちがうの？」と、お母さんに尋ねている男の子がいました。生活の中で違いに気付き、不思議に思う気持ちはとても大切なことです。子ども達の小さな気付きを見逃さず、一緒に考えたり、友達と調べてみたり、ワクワクする秋を過ごしたいと思います。

【【 七 五 三 】】

男の子は数えて 5 才、女の子は 3 才と 7 才の年に、成長を祝って社寺に参詣する行事です。

近年では、数え年ではなく、満年齢でお祝いをおこなうご家庭も増えていきます。

また、地域によっては、男の子でも 3 才のお祝いをするところがあるようです。

★ おおかまきり ★

秋が深まるにつれて、沢山見られた虫たちも次々に姿を消していきます。

子ども達に人気のおおかまきり。卵で冬越しをし、春には 200 から 300 の赤ちゃんが生まれます。

おおかまきりはとても強く、カエルやトカゲも食べるそうです。



= 11 月の行事予定 =

- 5 日 (木) 避難訓練
- 5 日 (水) } 尿、ぎょう虫卵検査
- 6 日 (木) }
- 16 日 (月) ミニ運動会
(無観客、3 才以上児)
- 27 日 (金) 身体測定・誕生会



=== ナース・レポート ===

【新型コロナウイルスとインフルエンザ】

新型コロナウイルスは今冬、インフルエンザと共に流行することが懸念されています。

しかし、2020 年冬を先に迎えたオーストラリアにインフルエンザの流行は訪れませんでした。

ウイルスは 1 つ流行すると、干渉が起こって他のウイルス感染症が流行しない傾向にあること、そして、新型コロナウイルス対策として、ソーシャルディスタンスを保ち、マスク着用、手指衛生と感染症対策を徹底したからだと考えられています。

では、インフルエンザの「ワクチン接種は必要なのでは？」ということではなく、同時流行を防ぐため、国もインフルエンザワクチンの接種を呼びかけています。

インフルエンザワクチンを接種することで重症化を防ぐため、子どもや高齢の方、また重症化しやすい方と一緒に住んでいる方もワクチン接種が推奨されます。

ワクチンには自身がワクチン接種をすることで、自分だけでなく周りの人たちを守る効果もあります。

大事な人を守るため、計画的にワクチンを接種しましょう！

そして、引き続き、ソーシャルディスタンス、手指衛生、マスク着用と対策を実施し、感染症に負けず冬を乗り越えましょう！！

《《《 お 願 い 》》》

1. クリアケースの中と、お便り帳を毎日確認してください。
2. お金などの貴重品は、必ず職員に手渡しをお願いします。
3. 持ち物や衣類には名前の記入をお願いします。名前が薄くなっていないか、もう一度確認して下さい。
4. 夜更かしをさせず、早寝・早起をし、しっかり朝食を摂りましょう。
5. 毎日入浴させ、清潔にしましょう。

☆☆ 読書のすすめ ☆☆

2. 大人が本に親しみましょう。

大人が本を良く読む家庭では、子どもも自然と本に親しむようになります。

家庭の中で、「特別」にはではなく、「日常的」に読書活動を行うためには、まず、保護者が本に対して、興味・関心を持ち、本を読むことが有効です。

大人が本に親しむ時間を作り出し、家庭の中で本を読むことの楽しさを子どもに伝えましょう。

3. 家族みんなで図書館に出かけてみませんか。

図書館は様々なジャンルの本がそろっており、また、読書に関するイベント等も開催されるなど、地域における読書活動の拠点です。







保護者の方が子どもの頃に見たり読んだりした本を、子どもに薦めてみましょう。

家族で図書館に出かけることで、子どもたちはやがて、自分で本を借りたり、調べ物ができるようになります。

地域の図書館と子どもたちの橋渡しをしましょう。

子どもが自分で本を選ぶことも大切ですが、その時期がくるまでは、読書に関する様々な情報を役立てて、子どもの読書の世界を広げる手助けをしましょう。

「教育力向上福岡県民運動
ホームページ」より抜粋

たんぼぼぐみ 0 才児	 <p>10 月は部屋の前にあるたんぼぼ園庭で遊ぶ機会を多く持つことができ、体を存分に動かす活動が出来ます。帽子を被り、靴を履いてたんぼぼ園庭に出ると思い思いの遊びを楽しみます。手足の運動能力が発達した子は滑り台をよじ登っていきます。自然に触れることを好む子は、地面に落ちてはいる葉っぱを両手に一枚ずつ大事そうに手にしたり、地面を這っているダンゴムシやおおろぎに興味を持ち、じっと眺めたりしています。ですが、ダンゴムシやおおろぎを手を取るにはまだ怖く、勇気が必要なようです。それぞれが思いのままの遊びが出来る楽しい時間となっています。11 月も天気や気温をみていながら、子どもたちの好きな戸外遊びの時間をたくさん取り入れていきます。転倒やケガを防ぐためにも靴はサイズの合ったものを履かせて下さい。</p>
たんぼぼぐみ 1 才児	 <p>午前中、夕方と戸外遊びを楽しんでいます。カマキリ、コオロギ、バッタなど色々な虫を発見し、興奮して知らせに来る子どもたち。地面にかじりつくようにして近くで見たり、葉っぱで触ってみたり、虫の動きを真似したりとそれぞれの楽しみ方で見えています。1 才児クラスでは、どの子もしっかりと自己主張するようになってきました。それに伴い、「イヤ」「ダメ」などの声が部屋のあちこちから聞こえてくるようになりました。その子の、これはしたくない。今はイヤだ。という気持ちはしっかりと受け止めつつ、物事の善悪、出来ること、出来ないことは繰り返し伝えるようにしています。良いこと、悪いことの判断基準が違くと、子どもが混乱してしまいます。家庭内で話し合ったり、家庭と園で話し合ったりしながら、統一した対応が出来るようにしていきましょう。</p>
すみれぐみ 2 才児	 <p>先日、池の周りへ散歩に出かけました。すみれ組になり、初めての散歩に、朝からワクワクしているようでした。コスモスやススキ、どんぐり、木の実など秋の自然を見つけ、大喜びの子ども達でした。特に、子ども達が一番、関心を寄せたのは、みのむしでした。初めて見る子ども達も多くいたようで、「これ、虫？」「これ、何？」とみのむしの様子を、不思議そうに観察していました。これからも、子ども達とたくさんの発見を、一緒に楽しみたいと思います。昼夜の寒暖差も大きくなり、服装の調節が難しい季節です。子ども達は、好きな遊びを見つけ、思い切り体を動かし楽しんでます。そのため、まだまだ汗をかく子もいます。天気や気温に合わせて、子ども達が元気に気持ちよく過ごせるように、服装も調節できるよう、準備をお願いします。</p>
ちゅうりっぷぐみ 3 才児	 <p>木犀の香りをかぎ「かわいい匂いがする」と、大人では思いつかないような表現をする姿や、大好きな女の子の横に座り「僕は～ちゃんが好き！」「～ちゃんも僕のこと好き？」と自分の思いを伝える姿。雲ひとつない青空を見て「トンボかハチが（雲）食べたんじゃない？」と、空と飛べる虫を関連させて理由を導き出す姿。日々、こども達の会話を通して語彙力と言語化する力、さらに、相手に伝える力や知識と体験を一致させる力が伸びていることを実感しています。又、助詞を含んだ正しい文章で表現できる姿も増え、前後の言葉の関係性を理解している表れともいえます。興味をもって耳を傾ける良い聴き手に恵まればこどもは語り、他者に伝えたいような生き生きとした体験が言語表現に繋がります。こども達の「言葉」を支えていけたらと願っています。</p>
ばらぐみ 4 才児	 <p>日々、元気に過ごしています。ドッチボールでは、勝敗を意識して楽しんでます。逃げてばかりでは勝てない事に気付くと、ボールを拾う回数が増えました。当てられた子は「自分も内野に戻る為に、絶対当てる」と悔しさをバネに前向きに取り組もうとする姿が見られてきました。踊りの活動と共に「左」「右」の語を正確に理解することを目標にして取り組んでいます。言葉を発しながら動きの確認をすることで、左右を意識し始めました。更に、みんなで動きを合わせることで、「OO 君こよよ」「広がって」と声を掛け、気持ちを合わせようとする姿が見られ始めました。共通の目標に向かって活動することで、より良くしようと協力し合う姿が見られます。相手の気持ちを聴く力や協調性が身に付く時期だからこそ、「集団活動」を意識して過ごしていきます。</p>
ひまわりぐみ 5 才児	 <p>先日の誕生会でグループに分かれて「山の音楽家」を披露しました。自分達で動物が楽器を演奏しているところを表現しながら歌いました。練習を始めた頃は恥ずかしがっていましたが、友だちと一緒に力を合わせて当日は 3、4 才児と保育士の前で活き活きと楽しく表現していました。また、秋の自然を感じに散歩に行ったり、運動場の柵の周りで遊んだりしています。落ちていた金網を切り株に乗せ、その上に大きな石を集めてきて焼肉ごっこをしたり、ミミズを見つけてと枯葉や小枝を集めてきてミミズの家を作ったり、友だちとアイデアを出し合って遊んでいます。最近は虫を捕まえてもすぐに逃がしたり、優しく扱ったりして生き物の命を大切にしています。これから寒くなりますが、厚着するのではなく戸外でたくさん体を動かして体を温めて薄着で過ごしていきます。</p>